

米国フロリダ州 オレンジ出荷量が33%減少の予測

FreshPlaza 2024年12月11日

米国農務省農業統計局が本日発表した2024-25年度のフロリダ州全オレンジ出荷量予測は1,200万箱で、10月の予測から20%減少した。このとおりになれば、昨シーズンの最終出荷量よりも33%少なくなる。

予測は、バレンシア種以外のオレンジ(早生、中生、ネーブル種)500万箱とバレンシア種のオレンジ700万箱で構成されている。比較のために8年間の回帰が用いられている。発表の中で、「平均」、「最小」、「最大」という用語は、ハリケーン「イルマ」の影響を受けた2017-18年度と、ハリケーン「イアン」及び「ニコル」の影響を受けた2022-23年度を除く、過去10シーズンの数値を指す。

柑橘類の品目別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

品目及び州	出荷量 ¹		2024-2025 予測出荷量 ¹	
	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)	10 月予測 (1,000 箱)	12 月予測 (1,000 箱)
バレンシア種以外のオレンジ²				
フロリダ州	6,150	6,760	6,000	5,000
カリフォルニア州 ³	36,000	38,200	39,000	39,000
テキサス州 ³	570	690	400	400
米国計	42,720	45,650	45,400	44,400
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	9,670	11,200	9,000	7,000
カリフォルニア州 ³	8,600	9,300	8,700	8,700
テキサス州 ³	560	490	450	450
米国計	18,830	20,990	18,150	16,150
オレンジ合計				
フロリダ州	15,820	17,960	15,000	12,000
カリフォルニア州 ³	44,600	47,500	47,700	47,700
テキサス州 ³	1,130	1,180	850	850
米国計	61,550	66,640	63,550	60,550
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	1,810	1,790	1,400	1,200
赤肉系	1,560	1,550	1,200	1,050
白肉系	250	240	200	150
カリフォルニア州 ^{3,4}	4,500	4,300	4,200	4,200
テキサス州 ³	2,250	2,400	1,900	1,900
米国計	8,560	8,490	7,500	7,300
レモン³				
フロリダ州 ⁵	(NA)	(NA)	500	500
アリゾナ州	1,400	950	900	900
カリフォルニア州	25,800	24,600	26,000	26,000
米国計	27,200	25,550	27,400	27,400
タンジェリン及びマンダリン⁶				
フロリダ州	480	450	400	350
カリフォルニア州 ³	23,500	27,400	25,000	25,000
米国計	23,980	27,850	25,400	25,350

(NA)はデータなし

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ: カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン: アリゾナ州及びカリフォルニア州 80、フロリダ州 90。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

² フロリダ州ではバレンシア種以外の早生品種(ネーブル種を含む)及びバレンシア種以外の中生品種。カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。テキサス州では早生品種及び中生品種。

³ 10月の予測を持ち越した。

⁴ カリフォルニア州ではボメロを含む。

⁵ 2024-25年度産から推計を実施。

⁶ タンジェロを含む。

バレンシア種以外のオレンジ： 500万箱

バレンシア種以外の予測出荷量は500万箱で、10月の予測から100万箱減少した。収穫時の最終的な果実のサイズは平均を下回ると予測される。現在の落果率は最大値を上回っており、収穫時にも最大値を上回ると予測される。バレンシア種以外の予測に含まれるネーブル種の予測出荷量は15万箱で、バレンシア種以外のうちの3%を占めている。

バレンシア種のオレンジ： 700万箱

バレンシア種の出荷量は700万箱と予測されており、10月の予測から200万箱減少した。現在の果実のサイズは平均的であり、収穫時にも平均的であると予測される。収穫時の落果率は、最大値を超えると予測される。

グレープフルーツ合計： 120万箱

全グレープフルーツの予測出荷量は120万箱で、10月の予測から20万箱減少した。このとおりになれば、昨シーズンの最終出荷量よりも33%少なくなる。

赤肉系グレープフルーツ：

赤肉系グレープフルーツの予測出荷量は105万箱で、10月の予測から15万箱引き下げられた。赤肉系グレープフルーツの収穫時の果実サイズは平均以上で、落果率は最大を超えると予測される。

白肉系グレープフルーツ：

白肉系グレープフルーツの予測出荷量は5万箱減の15万箱である。白肉系グレープフルーツの収穫時の果実サイズは平均を上回り、落果率も平均を上回ると予測される。

レモン： 50万箱

レモンの予測出荷量は10月の予測を持ち越し、50万箱とする。

タンジェリン及びマンダリン： 35万箱

タンジェリン及びマンダリンの予測出荷量は35万箱で、10月の予測から5万箱減少した。この予測数量には、タンジェリン及びマンダリンの認定されたすべての品種が含まれる。

信頼性

ユーザーが12月1日のフロリダ州の生産予測の信頼性を評価するのを助けるため、過去の実績に基づく統計的尺度である「二乗平均平方根誤差」(RMSE)が計算される。12月1日の生産予測と最終推計値の偏差を最終推計値に対するパーセンテージで表し、直近20年間の偏差の二乗の平均を計算すると、その平均の平方根が統計的な「二乗平均平方根誤差」となる。

レポート全文は[こちら](#)